

本

あち 議会だより

2016年(平成28年)

第87号

7月20日発行

6月定例会

- ★ 6月定例会のあらまし 2 ページ～
- ★ 一般質問(9議員) 10 ページ～
- ★ 阿智☆昼神観光局について 14 ページ
- ★ わが村の誇り 15 ページ
- ★ 阿智村大好き 16 ページ

地球半回転

撮影: 林 和男

場所: 阿智村伍和

12月31日18:00より12時間露光

6月定例会報告

6月定例会を、8日から21日まで14日間の会期で行いました。

平成28年度一般会計補正予算をはじめ、阿智村空家等対策協議会設置条例の制定、本谷園原辺地に係る総合整備計画の変更などを審議し、議決しました。また、阿智村税条例の一部を改正する条例の制定などを承認しました。なお、今定例会に出された請願3件と陳情1件については、閉会後も継続審査することとしました。

皆さんから出された請願・陳情

請願第1号

◆国の責任による35人以下学級推進と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する請願

請願第2号

◆「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める請願

請願第3号

◆複式学級の編制基準の改善、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願

陳情第1号

◆子ども・障がい者等の医療費窓口無料化を求める長野県への意見書提出を求める陳情

審査の結果、今後関係者との懇談を行うなど、閉会後も継続して審査することとしました。

条例等

【承認した主な内容】

◆阿智村税条例の一部を改正する条例の制定

地方税法の一部を改正する法律の公布に伴う改正です。

【議決した主な内容】

◆阿智村空家等対策協議会設置条例の制定

空家等対策の推進に関する特別措置法第7条第1項の規定に基づき設置する、阿智村空家等対策協議会について定めた条例です。

◆下伊那郡町村公平委員会組合規約の変更

行政不服審査法の改

正に基づく第三者機関『行政不服審査会』を、

下伊那郡町村公平委員会組合が担うにあたり、組合の名称を「下伊那郡町村総合事務組合」に変更する等、組合規約を変更するための議決です。

◆本谷園原辺地に係る総合整備計画の変更

平成25年度から平成29年度に係る計画の変更で、村道改良2-17号線(中央)事業費7,000万円を追加するものです。

◆損害賠償の額を定めることについて

地方自治法の規定により、阿智中学校における、部活動中の事故に対する損害賠償の額を議決しました。

◆巡回バス購入契約の締結

伍和・智里東線のバスの老朽化に伴い、バス一台を新たに購入する契約の締結です。

【契約物件】

三菱ふそう ローザ 29人乗り・4WD

【契約者】

株春日自動車

◆救助資機材搭載車両購入契約の締結

阿智村消防団の本部車輛として、救助資機材を搭載した車両を新たに購入する契約の締結です。

【契約物件】

ダイハツ

救助資機材搭載車

【契約者】

株浪合石油



平成28年度補正予算

◆一般会計（第1号）

【主な内容】

○商店街創造支援事業
補助金を活用した、買
物弱者対策
66万円

66万円

○観光組織の再編に伴
い、村所有の昼神温泉
エリアサポートの株式
173株を、20法人等
に売却することによる
有価証券売却収入
173万円

173万円

○お試し暮らし事業、
住宅2棟分の賃貸借料
2万円

2万円

○地域発元気づくり支
援金を活用した事業
・清内路定住モデル推
進事業
83万円

83万円

・阿智村認定地域資源
普及事業
103万円

103万円

○NTT及び中部電力
の電柱移設工事に伴う、
村光ケーブルの移設工
事
8,400万円

8,400万円

○清内路振興協議会委
員報酬
12万円

12万円

◆一般会計（第2号）

○損害賠償額の決定に
よる補正
152万円

152万円

◆水道事業特別会計 （第1号）

○県道園原インター線
旧黒川橋護岸崩壊によ
る、第一簡易水道導水
管の改良に係る設計委
託料
1,000万円

1,000万円

○湯ったりくな昼神省
エネルギーサービス使
用料
276万円

276万円

平成28年度補正予算

会 計	補 正 額	補正後の額
一 般 会 計（第1号）	2,478万円	48億3,478万円
一 般 会 計（第2号）	152万円	48億3,630万円
水 道 事 業 会 計（第1号）	1,000万円	2億8,300万円

平成27年度補正予算（専決・承認第2号）

会 計	補 正 額	補正後の額
一 般 会 計（第9号）	2億5,494万円	57億2,252万円

繰越明許（一般会計）

平成27年度から平成28年度に繰り越した主な事業は、全村博物館構想の案内看板設置工
事と、デイサービスセンターえんばなの屋根改修工事、防犯灯LED化工事、地域公共ネッ
トワーク強じん化事業、未婚者結婚支援対策事業など、計2億4,845万円です。

結婚支援対策事業の充実、 コミュニティ活動の充実

総務常任委員会

平成28年度一般会計
補正予算等について

【総務費】

Q 未婚者結婚支援対策事業の事業予定、内容は。(当初予算で上げられていた同事業の150万円は、国の補助金が交付されたことにより減額されました。事業費の総額は300万円になります。)

A 8月に昼神のホテルで婚活パーティー、6・9・12月に田舎婚活を実施いたします。現在婚活プロジェクトに5名の方が参加協力をいただいております。役場での相談はなかなか行きにくいという声がありますので、9月頃より、下町の旧橋上病院横の矢沢さんの



空き家をお借りして、相談日を決めて婚活相談所を開設していく計画があります。

Q 清内路振興協議会委員報酬12万円が計上されたが、今回の振興協議会への諮問内容は、

A 旧清内路中学校の跡地利用の促進を図りたいとの考えで、集落支援員を6月から配置したところでありますが、一人では大変難しいということ、また、今までの経過から考えて振興協議会と一緒にあって跡地利用を集中

して考えていただく。この案件につきましては、当初から研究していた、期間で答申をいただきたいと考えています。

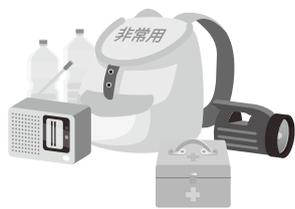
Q コミュニティ補助金580万円の事業内容は。

A 一般財団法人自治総合センターの宝くじの社会貢献広報事業として村が390万円の補助金を受け、中関自治会の施設整備事業195万円に対して190万円
・清内路自治会の防災用品整備事業206万円、280円に対して200万円
それぞれの自治会に補助するものです。
また、公益財団法人長野県市町村振興協会の地域防災組織育成事

業として村が190万円の補助金を受けるなかで、智里西自治会の防災用品整備事業190万1,880円に対して190万円を補助するものです。

Q 智里西地区の防災用品の整備について、村として一般財源でも防災の資器材の購入予定はあるか。

A すでに、以前の事業で購入してあるので今後必要なものがあれば購入してまいります。



Q 番号制度中間サーバイ利用負担金142万円の負担金について、この負担金は毎年必要か。

A 29年度からはこの金額の約9割位が必要になると考えています。

Q 番号制度の運用にあたり、顔写真入りの個人番号カード交付申請書兼電子証明書発行申請書の利用はどの位あるか。また、申請に当たり実務上困った問題トラブルはあったか。

A 現在307名が地方公共団体情報システム機構へ申請し182名の人が交付を受けています。

交付申請に当たり、当初は全国で一斉に地方公共団体情報システム機構への申請が集中して混雑したが現在は

スムーズに事務処理が行われています。

Q 全村博物館費の用地購入費と宮崎邸跡地整備工事費は。

A 中関の宮崎さんの宅地及びその周辺については既に2,715㎡弱を村へ寄付をいただけていますが、村の文化財であります大杉の前の畑597㎡弱が宮崎さんの名義で残つ

ており、この土地の所有者より村へ購入のお願いがあり、また地域の皆さんの要望もあり

今回購入費として256万円の予算をお願いするものです。

また、村の文化財である大杉への道がなく、小学校の子供が見学に來たが難儀であったので、砂利を敷く程度の道路整備も併せてお願いするものです。

【消防費】

Q 一般住宅耐震診断委託料について。この事業の住民への周知は。

A 現在3件の申請がありますが、診断料の単価アップによる差額の補正であります。

この事業の周知については、4月の広報でお知らせし、地域安全委員会においてこの事業の説明をしたところ

村政60周年記念植樹祭



(株)阿智☆昼神観光局が発足！

産業建設常任委員会

平成28年度一般会計
補正予算(第1号)
について

歳入

【財産収入】

Q 有価証券売却収入173万円の内容は。

A この6月1日に株阿智☆昼神観光局が、新たに20法人が参加し、計39法人と村の出資によりスタートしました。

この新しい観光局は、旧株エリアサポートの取り組みを母体に、観光をプラットフォームにした村づくりを、全村を対象にして進めます。阿智村は、旧株エリアサポートに出資し1,580株を保有しています。今回の新しい会社は増資を行わなかったため、新たな参加者20法人に村の持

ち株の内、合計で173株を譲渡したための売却収入です。尚、村は新会社においても現時点で1,407株を保有する筆頭株主となっています。

歳出

【定住促進費】

Q 需要費50万円の内容は。

A お試し住宅として清内路と浪合で現在空いている村営住宅2戸で募集します。この村営住宅に設置するテレビやストープ等の家電製品の購入と、水道料や電気料の基本料金分です。

今回の補正予算に係り、阿智村お試し暮らし事業実施要綱の改正

平成28年水道事業特別会計補正予算(第1号)について

案が示されました。この案について他の市町村と比較しながら検討し、定住促進の重要な施策の一つとして捉え確認しました。

Q 周知はどのように考えているか。

A 社会福祉協議会との連携や民生委員さんを通じて行いたいと考えています。

【商工費】

Q 商店街創造支援事業99万円の内容は。

A 商工会を中心に取り組んでいただく、買い物弱者への事業です。巡回バスと帰りはデマンドタクシーによる交通対策を検討しています。試験的に9月〜11月の3か月間実施の予定です。

負担金については検討中ですが、距離等を踏まえた設定を考えています。

【要望】巡回バス内に、

解りやすく表示すると効果があるのではないか。

【観光費】

Q 省エネルギーサービス使用料276万円の内容は。

A 湯つたりくな昼神に設置してある太陽光発電の使用料として、おひさまシンポに支払うものです。平成30年までの残り3年間分について村が負担することになり、その今年度分です。

【簡易水道施設建設改良費】

Q 簡易水道施設設計委託料1,000万円の内容と場所は。

A 第一簡水の導水管は、県道園原インター線を利用しており、清内路から駒場ダムに流れ込む黒川の横断は、黒川橋に敷設しています。現在、黒川橋は新しい橋に架け替えられています。通常、橋の架け替えの場合、古い橋はその時点で撤去されますが、導水管が敷設してあったため、撤去の際は村で責任を持つことを条件にそのまま利用させていただいています。今回、この

《視察報告》

5月17日に、飯田市の下久堅地区に広域連合が進められている、新ごみ焼却施設の、建設現場の視察を行いました。また、基礎工事の段階でしたが、場所の確認や施設の概要について、責任者から説明を受けました。

新施設の名称は「稲葉クリーンセンター」です。平成29年の9月の完成を見込んでおり、試験運転ののち、12月より受入れが始められる予定です。これにより、ごみの出し方や袋等変更が出てきますので、行政からの指示に沿って出していきます。



建設中の稲葉クリーンセンター

提言に向け、熱をこめた研究中

政策検討委員会

9月までの研究期限に向けて研究していきます。3分科会の中間報告は次のとおりです。

自然エネルギー活用促進研究分科会

・リーダー 吉田哲也
・サブ 田中里司

委員 木下勝吉

” 高坂美和子
2箇所の施設を視察しました。

【飯田市ほっとアップル】

平成21年度導入のペレットボイラー見学、社長との懇談を行いました。灯油ボイラーとの共用で、灯油価格を見て其々の稼働率を按分しています。メンテナンスは年数回の管理程度で、日常の手入れはたいへん簡便、排出される灰もとても少ないです。

【南信州チップセンター】

チップ、ペレット工場の見学、社長との懇談を行いました。懇談



ほっとアップルのペレットボイラー見学の様子

ではペレット機器の性能の向上について、またチップやペレットを使った発電に取り組む自治体や民間会社が増えてきた現状と問題点や、森の資源化の仕組みができることと森林整備が促進され、雇用の創出、防滅災にも効果が期待できると伺いました。7月にはバイオマス発電施設の訪問を計画しており、その後村への提言事項をまとめていきます。

空き家利活用分科会

・リーダー 高坂和男
・サブ 林 清子

委員 下原賢市
” 原 一広

【研究内容】

【現状視察】

村内の空き家の現状を知るために、清内路・智里・伍和で6軒の視察を行いました。ほんの少しの改修で使用可能な物件、トイレなど水回りの改修を行えば良い物、大改修が必要な物件など、利用するには条件に大きな差が有ることを再認識しました。

また、村外で利活用されている、南木曾町の視察では、協力隊の方が自分の持てる能力を上手に発揮してゲス



南木曾町視察

トハウスに活用の形と、勤めを辞めた方と地域の奥様方の協力と知恵で成り立っているキッチン&カフェを見る中で、基本的には新しい発想と、中心になって引く張る方、地域の協力者が不可欠と感じてまいりました。

現状の情報収集と、活用の視察を終えたので、有効的な利活用のあり方などを模索・検討し、提言に向けて進めてまいります。

教育分科会

・リーダー 勝野公人
・サブ 原 利正

委員

竹村正之
熊谷義文

【研究テーマ】

「義務教育における充実した学びの体系」

【研究内容】

村内の小学校5校に行政区域の違う平谷小学校を含む6校が一つ

の中学校に学ぶということは県下でも類を見ない特徴であり、生徒の生活の実態を知るために中学校長との懇談を行いました。

懇談において、生徒の不安を少しでも解消しているのは学習支援主事の配置であり、小学校間の交流・中学への体験入学等で生徒間の交流が生かされていると考えられました。

しかし、阿智村は広い地域で、小学校の規模も違い地域性も異なり、それぞれ違った環境で育った子どもたちが中学校での生活に不安なく充実した学校生活を送ることができているか、その実態をより具体的に知るためにアンケート調査を実施いたしました。

また、連携教育に先進的に取り組まれている野沢温泉村を視察する予定です。

村外の発生土の 受け入れはむずかしい

リニア特別委員会報告

平成28年4月から6月

1 活動概要

委員会会議は3回実施しました。

6月15日に別記学習会を行いました。

2 会議内容

委員会会議

①3月14日に行った学習会「谷埋め盛土の将来を考える」について、実施後の意見交換を行いました。ここでは「公募地は、谷、沢を含んでいるので、慎重な対応が必要と感じた」「自然の摂理の話を書いたが、かたちあるものは壊れるという考え方だけでは、橋一本、道ひとつできないということも言える。どのように接点を見出すか発生土を置くことについて、日本の技術はどういうものがあるのか、今後の学習会では、そ

ういった話しを聞いた」という種の意見が多く出され、次の学習会のテーマが策定されました。

また同時期に、リニア対策委員会が村道1-20号地権者利用者の会に対し、「村道1-20号を発生土運搬車両が通る台数を減らすため、斜坑周辺に仮置きを含め発生土を置ける可能性のある場所をJRに調査させる」という提案を出されたところですが、その報告を受ける中で、「JRと協定書を結ばないとなし崩しになるので協定書は必要」「県に伝えるべきはもっと伝える姿勢が必要」という意見がありました。一方で、「発生土置き場の候補地はもう少し検討、利活用も考えていく必要がある」という意見、「村として出てきた公募地を選定

する調査をどうするか」「決める基準をどうするか考えるべき」という意見もあり、今後の検討すべき課題が多く出されました。

②議会による自治会懇談会で、阿智村のリニア対策事業の説明のあり方について協議し、文案をまとめました。

③自治会懇談会においては、「村長が一般質問の答弁や、リニア対策委員会の会議の中で、南木曾の発生土の搬入について阿智村で受け入れることはたいへん困難であると考えている旨の発言があつたが、議会はどのように考えているか」という質問がありました。特別委員会ではこのことについて改めて協議し、村長の考え方に同意、尊重することを確認しました。

④学習会の持ち方について協議しました。今回は、前回の学習会後の意見やリニア対策委員会の出された提案を踏まえ、清内路斜坑周辺での仮置きを含む発生土を置く可能性のある技術や方法についての学習会を持つこととしました。

⑤村道1-20号地権者・利用者みなさんや清内路地区のみなさんとの懇談につきましても、現在リニア対策委員会の提案に対する回答をどのようにするか検討中ということですので、他地区とあわせ、今後の推移の中で開催について考えます。



学習会の報告

「村道1-20号・萩の平周辺の公募地（村提案地含む）で安心・安全に発生土を置く（仮置きを含む）可能性のある方法について」

【日時】 6月15日（水）
19時30分～2時間

【対象】 リニア対策委員会、行政担当者、清内路自治会

【場所】 阿智村コミュニケーション館2階ホール

【講師】 渋谷枌州氏
(しびやうぢうじ) (阿智村駒)

元信州大学大学院工学系研究科講師、元美和ダム湖内堆砂対策実施設計アドバイザー、国有特許SY・SKYシステム発明者

【講話要約】

専門用語をさけ、わかりやすく説明します。当該の場所、黒川の岩盤は緻密で非常に強固な岩盤です。その上に1,000トンの土を置いて岩盤が崩壊することはありません。岩盤の上においた土の下部とか急な崖をコンクリートで押さえれば、さらに安定します。これがナトム工法やロックボルト工法の考え方です。

メートル後方へ犬走を設け階段状になるように積む程度であれば心配はないです。たとえば土を100メートル積む場合でも、1対2という割合で置き、表面水処理を併用すれば安全です。

黒川の両岸は災害の危険性はほとんどないと思います。ただし、沢からくる水だけでは、しっかりと処理しておく必要があります。現地沢の状況、谷の深さ、勾配などを勘案して、沢ごとに検討が必要です。経験的にこの沢が危ないということは皆さんもご存知でしょう。

【質疑応答】

Q 清内路の花崗岩の岩盤は強固だということだが、盛り土をする上で、本当に大丈夫なのか。

A 黒川沿いに関しては大丈夫。黒川から西

は南斜面はいいが北斜面は風化の影響を受けている所もあります。基礎強度はしっかりとしているが、凍結による水の膨張圧を受けて斜面が風化しています。

Q 坑口から国道256号までの間に仮置きするとしたとき、標高差がある。土を受ける岩盤は強固でも置いた土についてはどうかという心配があると思うがどうか。

A 土の粘着力や摩擦力などを計算していくわけだが、1対1・2よりゆるい勾配、たとえば1対1・5とか、そういう勾配であれば大丈夫です。もつと土の量を置きたいとなれば、勾配が立ってくるが、その際は、ロックボルトをうつ、枠をつくるなどのせん断対策を施工すれば十分対処できます。割れ目のあ

る崖は水の凍結による破壊の心配があるので河川境界からできれば5メートル入ったところからつくれば、上の荷重によって崩壊がおきることはありません。

Q ずりの建築、土木での活用方法はあるのか。

A 使いようによるが、鉱物の性質により使用道は限定されます。

Q コンクリート構造物のとき、支持地盤まで構造物が届かないといけないのかどうか。

沢筋に置き場をつくる可能性はあるのか。
A ここ清内路では、最低50センチ掘ればよいだろう。1メートル50センチ掘れば、上に置いた土の重さによる変形も見られないはず。沢筋の置き場については、沢にもよるが、置き場をつくる方法はあ

ります。私が設計したへブンスそのはらの駐車場の一部は沢筋を埋め、その上流に大きな岩石等の流入は防ぐが水は流す構造の堰堤をつくって現在も問題がありません。

Q 世の中には「想定外」ですませることがある。100年後200年後、想定外といわれないようにするためにはどうすべきか。

A 巨大な直下型地震や隕石の衝突など急激な巨大なエネルギーの変化に対しては別に考えた方がいい。万物流転の地上では絶対はない。しかし、100年先の孫やひ孫の世代に影響を与えないようにすることは最低限と考えないといけない。地下水や土壌菌を含めた風土というものや経験もあわせて考えていけばよいのではないかと

思います。

Q 公募地について、風土や経験というものだけでなく、ボーリング調査など細かい調査をした上で、良いか悪いかということを決めていくことが大事だと思いがどうか。

A その通りだと思います。現地での工学的調査は必要です。短時間なので私の知見が役にたったか心配ですが、またの機会に個々の具体的検討ができればと思いますので、気軽に声をかけてください。



リニアの学習会

避難訓練のイベント化を

基本を押さえながら工夫も必要

林 清子



災害対策について

問 災害が各地で起きています。高齢化率が高いこと、広範囲に人が居住していること、昼神温泉があること等、近隣とは異なる条件を踏まえて、阿智村の災害対策について質問します。災害対策基本法が改定され、要支援者名簿の作成が市町村に義務付けられたが、

牛山総務課長 本年度名簿作成に取り組みたい。

問 避難所について。

総務課長 指定避難所は17箇所、収容人員は3550人、耐震対策を行っていない建物もある。

問 備蓄は。

総務課長 熊本に送ったので、現在主食が千食、ビスケット2千食、毛布千枚。

問 障がい者施設が多いが、避難の方法は。

総務課長 原則は施設での

対応だが、地域の連携が必要。

問 昼神の観光客の有事の際の避難誘導は。

総務課長 防災委員会が組織されている。それを中心に施設相互の協力が不可欠。

問 報道で、阿智村では、応急仮設住宅の候補地を決めていないということだが。

総務課長 今後適地を選定していきたい。

問 防災のスペシャリストが必要。人材育成は。

村長 必要性は感じているが、限られた人数、予算で行政を行っているので、すぐというわけにはいかない。検討はしたい。

問 防災について楽しく学べるよう、防災訓練をイベント化してはいかがか。

村長 訓練の問題点を検証し、基本を押さえながら工夫も必要。さらに精度を高めること、各地域での意見交換も大切。

要望 防災訓練の基本は「間口は広く、敷居は低く」です。「災害時、一人も見逃さない」を合言葉に、しっかりと備えができるように行政の取り組みをお願いします。

一般質問

清内路中学校跡に健康づくりの知の拠点を

伝統野菜の宝庫・健康テーマにふさわしい

田中里司



清内路中学校跡活用の提案

問 国の規制緩和、農産物等の機能表示食品や地域の資源を活かした予防医学・健康づくりの知の拠点づくりを。

村長 やはり、学校でしたので地域の皆さんや多くの方が学べる場・集いコミュニティの取れる場として、活用することが望ましい。健康の森・伝統野菜販売周辺では葉草の栽培も行っています。伝統野菜の宝庫・清内路では、まさに健康というテーマにふさわしいと感じています。

協働の村づくりについて

問 地区事業で行政の説明

責任が果たされていなかった。協働の村づくりに行政側職員からも積極的に参加を。

村長 一つの事業に対しても今までの歴史や経過があり、その都度担当職員は村民の意見を聞き説明責任を果たす。普段から村民との対話の大切さは重要で、対話の積み重ねが村民から信頼を得る職員になると感じています。

リニア残土運搬に

問 昼神温泉街を工事用ダンプが通ることは、台数を減らしても、風評被害による経済的な影響は出る。JR側に補償を。

村長 私としては昼神温泉街を通ることは避けたい方向です。現在、清内路に1-20号線の皆さんの影響が最小限に済む方法を皆さんと丁寧な話し合いを進めている。JR側との補償については他地域の例も参考に、補償の問題など対応させていただきます。

村のまちづくり計画が必要では

10年、20年先を見据え計画します

道路計画は

問 平成28年度の新規事業「道路まちづくり計画作成事業」について、その概要と取り組み方法等をお聞きします。

村長 村には10年後20年後に向け、まちづくりや道路整備をどのように進めて行くのか計画がない。しっかりとした計画を立て、計画的に整備を進めないと、秩序が乱れたまちなってしまふ。そこでまず道路計画を立てることにしました。

夏から秋にかけ協議会を設ける。人選はこれからだが専門家も交え、リニアや三遠南信のアクセスなども考える。また、自治会など各地区の意見も聞きながら道路計画を立てます。

観光DMOの取り組みは

問 (株)阿智☆昼神観光局を立ち上げ、観光DMOの指定を受けた。村はこれから観光局とDMOにどのように関わっていくのか。

村長 国は地方創生において、交流人口を増やし定住を促進し、少子化問題の解決を図る考えで、観光DMOに力を入れている。

地域と行政、観光業者が一体となり、多様な関係者を巻き込んで、科学的なアプローチを取り入れ、観光地域づくりを目指す、そのかじ取り役が日本版観光DMOということです。村でもこの考えに沿い、村全体の観光地域づくりに観光局等と共に取り組みますが、知事もこれに大きな関心を寄せています。DMOの指定は2月に全国で24法人でしたが、その後どんどん増え、現在は81法人に増えました。時流に遅れないようにしっかりと取り組みます。

竹村正之



星ふるさと阿智村の未来のため、具体的取り組みを

地道な取り組みで、いつ、どのように、いつまでにやるということを明確にしていく

創生総合戦略と人口ビジョンについて

問 中長期的に取り組む具体的施策について。

村長 総合戦略では5年間で達成を目指す基本目標を設定し、具体的施策に取り組んでいきます。

例えば仕事の分野で地域資源を生かした観光では、DMOを具体的施策として計画し、阿智☆昼神観光局としてスタートしました。地域の皆さんと観光業者、行政が一緒になって観光での交流人口の増を目指す第一歩としました。人の流れとして、定住支援コーデイナーを設置し具体的に事業の推進に動き出しています。課題に応じて今までの事業をベースに新たな事業も織り交ぜ、検証し推進していきます。いつ、どのよう

に、いつまでにやるかというのを、中期ビジョンをもって取り組んでいきます。

問 子育て支援について今後の取り組み方は。

村長 関係機関の連携で、支援を推進しています。告知に課題があるので周知に努め、保護者への相談体制の構築で、その時に合った制度で充実していきます。

問 子育て環境の充実を。

村長 子育て中の皆さんと意見を交え、支援事業に生かしていきたい。教育に限らず時代に合った政策を行うため、村の施策も目に見えるものを作り、現場に入り対応していきます。

問 村が行う奨学金貸付制度に減免等の見直しを。

村長 奨学金を利用する学生は、2・6人に1人の割合です。国による給付型奨学金制度の検討もあるようですが、村が行うそうした施策により定住への引き金になれば非常に喜ばしいことだと思っています。

効果ある制度にしていくため、村全体の幅広い方々にお聞きする中で慎重に検討したいと考えます。

下原賢市



自然の力と防災のあり方、方針は！

環境の大切さを学び、安心安全の確保を確立

高坂和男



防災対策について

問 庁舎非常用電源の設置と必要性について。

牛山総務課長 大規模災害が発生し、停電すると現状は庁舎の予備電源は無し。県・村の防災無線機対応の物しかありません。災害発生時、対策本部の情報収集・発信等が大変制限され、安全確保に支障を来す状態であり、この設備を設置することに、この設備は自動的に切り替わり72時間電気を補うものです。

電力の供給範囲は役場庁舎全体、コミュニティ1・2階、保健センター1階。

問 この提案は職員独自のものか。

村長 災害時の対応はマニュアルに沿うことも大切だが、その場・その時に合った対応を自分達で考え、防災の仕組み作りをして行くことが大切と思っています。

そのような視点から見ればこの件は職員独自の提案であり非常に良い対応と思っています。

問 防災訓練の成果とその後の活用について。

総務課長 毎年実施している防災訓練は、住民の皆様が参加して体験することで災害に対する意識が高められ効果があると思っています。反省会も実施され良い意見も多く出ております。

しかし、後フォロワーの情報の共有化等は課題と感じていますので、今後取り組んでいきます。

生活環境について

問 空家等特別措置法に関する空家等対策計画は。

矢澤生活環境課長 危険で周りに悪影響を及ぼさせないための特措法制定に合わせて実施するものです。平成25年現状で空家総数274軒・特定空家47軒です。

今回は空家等対策協議会で認定し、また認定後には助言や指導を行い、催告・命令に従わない場合は代執行を行います。費用は所有者に請求します。代執行は最後の手段ですので自主的な対処を願います。

最後の手段ですので自主的な対処を願います。

阿智☆昼神観光局が発足した中、交流人口をいかに定住人口につなげる？

広域的な戦略と同時に、地域の特色ある取り組みも大事にする

一般質問

吉田哲也



問 新観光局が発足した中、交流人口増に取り組む村の考えは。

井原地域経営課長 新観光局が中心となり、官民一体で戦略的に取り組みます。より効率的に取り組みます。

より効率的に取り組みができると思いますが、星の取り組みも村内全域に広げたい。美しい村・自然をメインコンテンツとして交流人口増に取り組みたいと考えています。

問 6月17日に発展的解消となった阿智村観光協会が担ってきた役割はどうなるのか。

村長 観光協会の取り組みと経過を引き継ぎ、新観光局の取り組みとして地域と一体となるよう進めます。

要望 会費の問題もある中で、しっかりと議論の中で進めていただきたい。

問 交流人口を増やしてい

くが、それをいかに定住人口に結びつけていくのか。

村長 パンフレットやホームページで定住案内の充実を図っています。知事にも意見しましたが、「南信州」というくくりで戦略的なポータルをつくることも提言しています。

問 地域の草の根活動の支援も重要では。

村長 地域の特色を生かした方策は力があると思う。村は地域のみなさんと相談しながら取り組みます。

問 子育て世代は自然豊かな暮らしを望んでいる。長野県の「信州型自然保育」の認可をとる検討の進捗は。

佐々木教育長 週5時間程度の自然体験を行う普及型かと思うので、その方向で検討をすすめます。

問 自然を生かした子育て、産業振興、エネルギー活用等が阿智村の未来への活力になると思うがどうか。

村長 自然を感じることで生活の仕方を見つめなおすことも大切だと思います。教育については、教育委員会のみなさんと議論して進めていきます。

信号機設置について 今後職員数をどう考えるのか

- ・交通量の多いところから優先的に設置
- ・バランスが大事、将来的に行政がうまくまわること

木下勝吉



信号機設置について

問 わいわい公園の出入口の交差点の事故数は。

牛山総務課長 この交差点での事故数は、25年2件、26年2件、27年1件、今年も発生しておりません。いずれも物損事故であります。

問 設置基準等はどのようなものか。

総務課長 警察に要望していますが、実際には警察から県の公安委員会に申請書が上がります。必要となれば設置される流れになります。いずれにしても、交通量の多いところから優先的に設置していくことになりません。

村の財政について

問 今後の職員数をどう考えるか。

村長 行政を取り巻く状況は年々変化しており、いろいろな制度の改正が行われ

るなど、事務が複雑化され増えています。昨年作成された人口ビジョンが達成しても、30年後の人口が80%に減少する見込みとなり、当然職員数も考えてはいきたい。将来を見据え人の配置、人数、正規と臨職のバランス、年代のバランスを考えながら、将来的にうまくまわるように考えたい。

問 ラスパイレス指数とはどのように決まるのか。

総務課長 ラスパイレス指数とは国家公務員と地方公務員の給与比較です。算出方法は、職員の学歴別、経年数別に区分し、職員構成が国と同一になるよう仮定し算出するものです。職員の経験年数1〜5年の階層に分け、平均給料月額に国の職員数を掛け総額を算出し国と比較したものです。

問 住民数/職員数の数値をどうとらえるか。

村長 阿智村は行政施策に充てる人員が必要となり多くなっています。全国に市町村類似団体職員比較データがあり、その中の阿智村と同分類に91団体の内阿智村は少ない方から44番目です。

新制度での教委の主体性 国保不測の事態には

- ・代表教育委員を置く
- ・一般会計繰入れ等で対処

原利正



主体性持つ教委

問 村長から任命される新教育長の任務は、議決と執行のトップを兼ねるという独裁に陥り易い制度で、教育への政治介入も懸念されるため、教育委員会の合議重視と主体性確保のため互選による代表教育委員を置きたいと昨年3月議会で表明されたが。

塚田教育委員長 昨年の意志に沿い、この間の協議で阿智村としての教育方針に関わる内規を設け会議規則に附記し代表教育委員を置くこととした。教育行政には住民が常に関わり監督するレールマンコントロールが必要で、権限が行政に集約されないよう教委が主体性をもって協議し、事務局に託していくことが大切だ。

問 総合教育会議における教委の主体性の発揮はどの

ようになされているか。
教育委員長 会議の招集は村長、事務局は総務課と教委の両者、議事進行は教育委員長という形で順調に動いているものと思う。

国保は社会保障

問 今年度の国保税率を据置したことは歓迎するがその動機は。

村長 一定の繰越金が見込めることと、基金残高を見ながら据置とした。

問 平成30年度から国保運営が県一本化になるが、その時点における村基金の一定保有など、会計状況の善し悪しはその後の被保険者の益に影響するののか。

塩澤民生課長 広域化後も各市町村の医療費や所得水準は反映されるので村の国保財政は健全なのがよい。

問 今後、国保会計が急激に厳しくなった場合、本村のルールに従い、一般会計からの法定外繰入、基金の活用等で対処し、限界と言える被保険者の負担増、国保税引き上げは回避すべき。
村長 不測の事態が訪れたときは、一般会計からの繰入等で乗り切るしかない。

老後の生活に「安心」と「生活の質」がプラスされる方策は？

訪問看護を利用することで良好な事例が出ている

原 一広



問 人口統計から見えてくる将来の高齢者やそれを支える生産年齢人口（15〜64歳）はどうかと予想されているのか。

塩澤民生課長 人口は減少するなかで、65歳以上の方は平成32年頃にピークを迎える反面、生産年齢人口は減っていきます。

問 介護認定を受け在宅で生活している、訪問看護などを受けることで、良好に暮らしている方の事例は。

民生課長 寝たきり状態で在宅療養をされていた方が、看護師の訪問により30分位座れるようになり、筋力や体力の向上と共に食事量が増え、デイサービスでは車イスでレクリエーションに参加されています。

問 介護度の低い方の重度化を防ぐ方法として、①ケアプラン作成時に医療からの視点を織り込む。

②訪問看護・訪問リハビリの公費負担化に取り組み。
③現在サービスを受けている介護度2・3の人について、ケアプランを医療面から見直しする。これらを検討してみたらどうか。

村長 本人を取り巻く全ての皆さんが連携して、それぞれの専門性を発揮できることが大事です。介護度が上がらないように村をあげて取り組んで行きたい。

問 自宅に暮らし続けられる高齢者ばかりではありません。村づくり委員会「阿智村高齢者の福祉を考える会」から「地域に住み続けるための高齢者の住まい設置についての要望書」が出されています。対応は。

民生課長 27年度に高齢者住宅検討委員会を2回開催して研究しましたが、多様な意見がでてきて集約できていません。今後はもう一歩進んだ議論が必要と考えています。

問 新教育委員会体制は？
阿智村独自の「代表教育委員」などの取り組みを実現していたきたいが。

村長 規則を守る中で、相談をしながら進めたい。

一般質問他

阿智☆昼神観光局とDMOについて

地域DMO候補法人としての認定を受け、新組織検討委員会、準備委員会での協議を経て、村内観光業者を中心とした組織として5月18日の株主総会にて、『株主温泉エリアサポート』から『株阿智☆昼神観光局』に移行（名称変更・以下観光局）致しました。5月31日に阿智村観光協会が発展的解消することになり50年余りの歴史に幕をおろしました。そして6月1日に地域DMO候補法人としてリスタートいたしました。

域との連携や地域づくりなど、いま日本の地方が抱える問題に対応できてはいませんでした。観光局はそれらの問題を村と共同で改善を図る使命を持つと言っても過言ではありません。阿智村の観光地域づくりを積極的に推進し、世界に誇れる村として発信していきたいと思っています。

DMOとは、観光地づくりの背景

人口減少が急速に進むことで地域経済が縮小していく厳しい環境の下、「交流人口の拡大による地域活性化・観光産業振興による地域づくり」が求められています。

観光地づくりの推進体制とその課題

従来の送客受け地としての体制から、多様化と個性化が進む旅行者マーケットに柔軟かつ的確に対応できる体制への転換が急がれています。

プラットフォーム型の「観光まちづくり組織」

当観光局はソーシャルビジネスとして設立されました。この組織が地域の観光集客の核となり、その周辺にスモールビジネスが生まれる仕組みを作ります。また、観光をプラットフォームとして、従来のビジネス（他産業にも）に新しい発想や取り組みが生まれます。新たなスモールビジネスにより雇用が生まれます。雇用は定住を促進できます。この構造を生み出すことが使命となります。

交流人口の拡大、潜在人口の増大、新しいビジネスによる定住、雇用の拡大などの構造を構築し、施設の収益の向上による設備投資での経済活性化、人口増による村の経済基盤の安定を民間の知恵と感覚で推進し、行政とのコンセンサスを取りながら、10年後、百年後の阿智村の未来を作りたいと考えています。

株阿智☆昼神観光局

代表取締役社長

白澤 裕次

わが村の誇り

天竜公園阿智線



掘り割りで峠道の真下をトンネル？誰もが予想すらしなかった大工事と、そして田代川に架ける高い橋梁工事の竣工で県道・天竜公園阿智線伍和工区が竣工し開通した。

路線一番の難所栗矢から親田へぬける峠道の改良工事を最後に伍和全線開通である。

長い長い地区民の夢がやっと叶えられた。北高南低の県行政と悪口を言いながら要望活動を続けてきた苦勞も今は一遍に吹き飛んでしまった。

沿線の地権者の皆様にはご無理も申し上げ、ご協力いただいたことに県道とは言え地区民みんなが感謝の念を持たねばなるまい。そして後世に走り易い安全

な道をと思い要望活動を代々引き継ぎながら来られた先輩諸兄のお骨折りにも感謝感謝である。

村史を見るとこの道は三州街道の駒場から伍和を経て下條村の遠州街道に接続する郡内枢要路線と位置づけ明治33年に改修が始まったとある。

富草線として新富町を7尺の道幅にしながら伍和境まで、中之橋の修繕工事を行いつつ進められたが、改修費補助申請しながらである。自前施工なのだ。

大正末期日開線と変わり県が主となり新道栄町通りの工事を始めたが、伍和への延伸は長引き要望活動が始まったようだ。伍和村議会は鶯巣橋架設工事で

橋梁材を県へ寄付して協力したとあるが今ではとても考えられない。昭和26年には会地唐笠停車場となり、34年には粒良脇駒場線と名を変え、更に57年天竜公園阿智線と名を変え今日の開通を迎えたのである。

車で走ると20分足らず。総延長は大したこともないのだが、長い長い道程であった。古道下條線は新道に沿って様々な石碑と共に残るが歴史を知ると大事にしなければならぬ村の宝だ。

元阿智村議会議長 井原 勝利



天竜公園阿智線 栗矢トンネル

自治会懇談会 終わる

5月に開かれました議員による自治会懇談会には、多くの村民の皆様にご参加いただき大変ありがとうございました。8自治会181人の皆様と懇談することができました。



自治会懇談会の様子(浪合地区)

今年度事業の概要につきましては、内容の確認だけでなく、議会の責任としてどのような協議がされているのか、事業の進捗状況や成果についてチェックしているのかといった議会の役割についての確認や指摘などがありました。

また、人口減少に対する具体的な取り組みや、交流人口を増やすための村のPRなどへの関心が高く、ご提案もいただいたところでした。

不安定な気候や東南海地震の心配があるなか、災害に対する備えについてもいろいろのご意見をいただきました。村でやらなければならないこと、個人が考えなくてはならないことがありますが、防災訓練など、地域として、どうやってお互いに助け合い命を守っていくかはとても重要になります。それに關する器具・備品等の要望がありました。

各々の自治会が抱える地域の課題やご要望も伺うことができました。すぐに解決できるものばかりではありませんが、行政につなぎ、安心して住み続けられる地域づくりを進めたいと考えます。

年々、活発なご意見やご提案をいただくことができ、定例化されたこの機会の重要性を思うところです。一方、懇談会の持ち方についての意見もいただきました。議会としましては、審議経過や事業評価等をお伝えできるようにするとともに、住民の皆様のご意見や地域課題をくみ取り、政策に活かしていけるようさらに検討してまいります。

なお、出されました質問のうち回答が保留になっていたものについては、各自治会へご報告させていただきました。

阿智村 大好き★

お金では買えないものばかり 清内路

力隊として、移住して
きました。

清内路での暮らしは
東京での暮らしと全く
の正反対。4月でも雪
が降る清内路の気候や、
地域の会合や行事の多
さ、ゴミの分別の細か
さ：などカルチャーシ
ョックを受けながらも
新鮮な毎日を送って
いました。慣れない一人
暮らしで、休みの日に
なる何をしていいの
か分からず、東京の家
族や友達が恋しくなる
時もありました。しか
し、そんな暮らしの中
で一番の心の支えとな
ったのは地域の皆さん
の温かさでした。「お
茶でも飲んでくか」と
声をかけていた、だいて
は、おうちにお邪魔し
特製の漬物をいただき
ながら昔の話を聞く、
私にとって幸せなひと
時をたくさん過ごさせ
てもらっています。

花火に対する熱い情
熱・誇りを語ってもら
うたび、私も真剣に取
り組まなければと思わ
せてくれました。奉納
煙火の当日、櫓の中か
ら見た花火は忘れるこ
とはないでしょう。

そして私事になりま
すが、有志会のうちの
お一人とご縁があり、
今年の3月に結婚をさ
せていただきました。

今年6月には有志会
主催で、手作りの結婚
披露宴を清内路公民館
で開いて下さり、私の
東京の家族や友人、一

「阿智村に行つてみ
たい」そう思ったのは
去年の1月頃でした。

何気なく見ていた、全
国の地域おこし協力隊
の募集要項。その数あ
る中から阿智村の「伝
統野菜の栽培・販売」
を見つけ「これだ！」
と思い、すぐに応募。

いつかは生まれ育った
東京を離れて、自然豊
かな所で野菜をつくる
ような暮らしをしたい
と思っていた私にとつ
てぴったりの仕事だと
思いました。そうして
去年の4月から阿智村
清内路の地域おこし協

去年は清内路の一大
行事である奉納煙火に
も、下清内路煙火有志
会の一員として参加さ
せていただきました。

まだ見たことのない清
内路の花火を造る側と
して参加することに
少々不安はありまし
たが、有志会の皆さん

部のお世話になってい
る方々をお招きして、
結婚を祝っていただき
ました。披露宴は4時
間にもなりましたが、
私にとっては夢の中
に
いるような感覚であつ
たという間に過ぎ去つ
てしまいました。披露宴
の企画から進行の段取
り、会場の準備、飾り
付け、余興、お料理や
ケーキなど、日頃から
お世話になつていた
くさんの清内路の方々
がこの日のために準備
をしてくれたのだと思
うと、本当に感謝の気
持ちでいっぱいです。
ありがとうございました。

清内路の地域おこし協

力隊として、移住して
きました。

清内路での暮らしは
東京での暮らしと全く
の正反対。4月でも雪
が降る清内路の気候や、
地域の会合や行事の多
さ、ゴミの分別の細か
さ：などカルチャーシ
ョックを受けながらも
新鮮な毎日を送って
いました。慣れない一人
暮らしで、休みの日に
なる何をしていいの
か分からず、東京の家
族や友達が恋しくなる
時もありました。しか
し、そんな暮らしの中
で一番の心の支えとな
ったのは地域の皆さん
の温かさでした。「お
茶でも飲んでくか」と
声をかけていた、だいて
は、おうちにお邪魔し
特製の漬物をいただき
ながら昔の話を聞く、
私にとって幸せなひと
時をたくさん過ごさせ
てもらっています。

去年は清内路の一大
行事である奉納煙火に
も、下清内路煙火有志
会の一員として参加さ
せていただきました。

まだ見たことのない清
内路の花火を造る側と
して参加することに
少々不安はありまし
たが、有志会の皆さん

部のお世話になってい
る方々をお招きして、
結婚を祝っていただき
ました。披露宴は4時
間にもなりましたが、
私にとっては夢の中
に
いるような感覚であつ
たという間に過ぎ去つ
てしまいました。披露宴
の企画から進行の段取
り、会場の準備、飾り
付け、余興、お料理や
ケーキなど、日頃から
お世話になつていた
くさんの清内路の方々
がこの日のために準備
をしてくれたのだと思
うと、本当に感謝の気
持ちでいっぱいです。
ありがとうございました。

清内路 野村 南子



清内路 野村 南子

あしがき

大きな話題がたくさ
んある。本稿執筆現在
で結果は出ていないが、
まずは、参議院議員通
常選挙だ。消費増税再
延期の是非や地方創生
安全保障など喫緊の課
題がずらり。憲法改正
という「隠れた争点」
も控える。18歳選挙権
導入後初めての国政選
挙であり、投票率がど
うなるか、気になると
ころだ。

投票といえば、英国
での国民投票ではきわ
どくEU離脱が決まっ
た。世界経済への影響
が懸念される事柄だけ
に世界が注目する国民
投票だった。

世界的出来事ならば、
イチローに触れねばな
るまい。6月15日に達
成された日米通算最多
安打の記録は、私たち
の誇りだ。ぜひピート
ローズを越えてほしい。
副広報委員長 吉田 哲也